

岡山県の酪農施策について

岡山県農林水産部畜産課

1 酪農情勢について

平成18年度から2年続いた減産型の計画生産や平成18年秋からの飼料価格の高騰の影響を受け、酪農経営にとっては非常に厳しい環境が続いていましたが、今年に入り、国際的な穀物相場の下落等により配合飼料価格が値下げとなり、飲用向け乳価も昨年4月の約3円/kg引き上げに加え、今年の3月からはさらに10円/kg値上げとなるなど幾分明るい兆しも見えてまいりました。

しかし、配合飼料価格は未だ高水準にある中、生乳生産量の減少や後継牛不足、乳価値上げに伴う消費動向など不安材料は多いことから、酪農経営における更なる生産性の向上やコスト低減のための対策が求められています。

ここで、県で実施している酪農振興施策とともに、今年度新規または拡充された国の関係施策について紹介します。

2 県施策について

(1) 生産性向上対策

■乳用牛群総合改良推進事業

効率的な乳用牛の改良及び生産性向上のため、牛群検定を普及し、高品質で安心・安全な生乳生産と効率的で収益性の高い経営を目指します。

■クリーンファーム安全安心推進事業

乳量や乳質の向上が期待される、カウコンフォートに配慮した飼育環境の改善整備を進めるとともに、農家に対して乳質改善等衛生指導を行い、消費者が求める「高品質でおいしい牛乳」の生産と足腰の強い酪農経営の改善を図ります。

(2) 後継牛対策

■高品質乳牛導入事業

高品質生乳の安定的生産を促進するため、初妊牛を導入する経費に対し助成します。

■仲間をつくろう乳用後継牛確保対策事業

北海道初妊牛の価格高騰やヨーネ病等伝染病の侵入など県外導入には多くの課題があります。県内での乳用後継牛の生産育成及び流通の体制を強化するとともに、雌雄判別精液や雌雄判別受精卵を活用して効率的な乳用後継牛の確保を推進します。

■「みんなの牧場へ」ステップアップ事業

県内産の乳用後継牛確保を推進するため、公共育成牧場の施設改修や草地更新等により、効率的な飼養管理ができる体制へ転換するとともに、牧場体験や農作業受託作業の推進等地域に貢献する取り組みを支援します。

(3) 飼料自給率向上対策

■水田活用型飼料増産対策

耕畜連携の強化により、水田を活用した自給飼料の生産、特に県南の大規模水田を活用した稲WCS作付を拡大するとともに、生産された自給飼料を県北の畜産地帯へ供給する広域流通体制の整備を進めます。

(4) 消費拡大対策

■酪農イキイキ大作戦（蒜山地域ジャージー活性化モデル事業）

観光客や子供達に対し、酪農体験や交流ができる場の提供、こだわり牛乳を用いた地域限定の牛乳・乳製品の開発など、蒜山ジャージー乳製品の販売拡大とジャージー酪農の安定的な発展に取り組みます。

3 国施策について（新規、拡充）

■ 飲用需要変動対応緊急支援事業（組替新規）

21年3月からの牛乳値上げによる消費が減少した場合、プール乳価の低下による影響を最大限緩和するため、指定生乳生産者団体に対する「とも補償」を支援します。

■ 生乳不需要期支援緊急対策事業（新規）

飲用仕向けの多い都府県において、生乳の季節的な需要変動に応じた生乳生産を推進するため、飲用牛乳の消費が停滞する時期における生乳供給の抑制に係る経費の一部を支援します。

■ 生乳生産管理向上特別対策事業（新規）

酪農家における生乳の安全確保（生乳履歴の記録・記帳等）を推進し、消費者への安全な牛乳乳製品の供給の重要性に対する意識の醸成を図ります。

■ 酪農生産基盤強化緊急対策事業（新規）

乳用牛群の改良や安定的に優良な後継牛を作出するため、優良受精卵や性判別受精卵等の導入助成とともに、飼養管理技術の指導を行うことにより、生産基盤の強化を図ります。

■ 酪農飼料基盤拡大推進事業（拡充）

環境調和型の酪農経営を確立するため、環境保全や飼料自給率の向上に取り組む生産者に対し支援します。

■ 牛乳乳製品消費拡大特別事業（組替）

飲用牛乳の消費が減少していることを踏まえ、牛乳・乳製品を使った料理実習やコンクールなど消費拡大に取り組みます。

■ 国産飼料資源活用促進総合対策事業（拡充）

国産飼料に立脚した畜産の確立のため、高位生産草地等への転換促進、放牧の導入促進、飼料用稲の生産拡大、コントラクターの育成

・ 拡大、飼料用米や未活用資源の飼料利用の拡大・定着により、自給可能な国産飼料の一層の生産・利用拡大を図ります。

■ 畜産自給力強化緊急支援事業（新規・緊急経済対策）

飼料自給率の向上や飼料生産受託組織等の経営の高度化に必要な機械、生乳・鶏卵の衛生管理に必要な機械などの導入に対し、補助付きリース方式により支援します。

4 岡山県酪農経営支援チームの指導体制について

さらに、岡山県では昨年度各関係機関が連携した「岡山県酪農経営支援チーム」（県チーム・6地域チーム）を編成し、適切かつ効果的に指導できる体制を強化するとともに情報の共有による一体的な農家の支援活動を行っています。

【平成21年度重点項目】

- ① 乳量の向上：搾乳牛1頭当たり30kg/日以上の生産
- ② 繁殖成績の向上：分娩間隔20日の短縮
- ③ 乳質の向上：体細胞数30万以下の適合率70%
- ④ 飼料自給率の向上：稲WC Sの作付200ha
- ⑤ 重点指導農家の支援

また、今年度はラクトコーダーを使用した搾乳指導や地域での勉強会の開催を各地域で行う予定です。

各種事業を活用し、生産コストの低減や高品質な生乳の増産対策に取り組むとともに、関係機関と一体となった指導体制を推進し、魅力ある酪農経営を目指します。